

# データ保護の最新動向

2016/12/7

EMCジャパン株式会社

DPS事業本部

The logo for Dell EMC, featuring the word "DELL" in a stylized font with a diagonal line through the "E", followed by "EMC".

# データ保護におけるトレンド

- クラウドの活用

- 遠隔地保管や長期保管の格納先としてのクラウド活用

- プライベートクラウド(仮想統合基盤)への対応

- バックアップのセルフサービス化の実現

- 新たな脅威への対応

- 社内外の悪意を持ったデータ破壊への対応策としてバックアップを活用

# バックアップにおけるクラウド活用



クラウド活用シーン①  
遠隔地保管先としての  
クラウドの活用

バックアップデータの  
レプリケーション



クラウド活用シーン②  
長期保管データの格納庫  
としてのクラウドの活用



必要とされる技術/機能

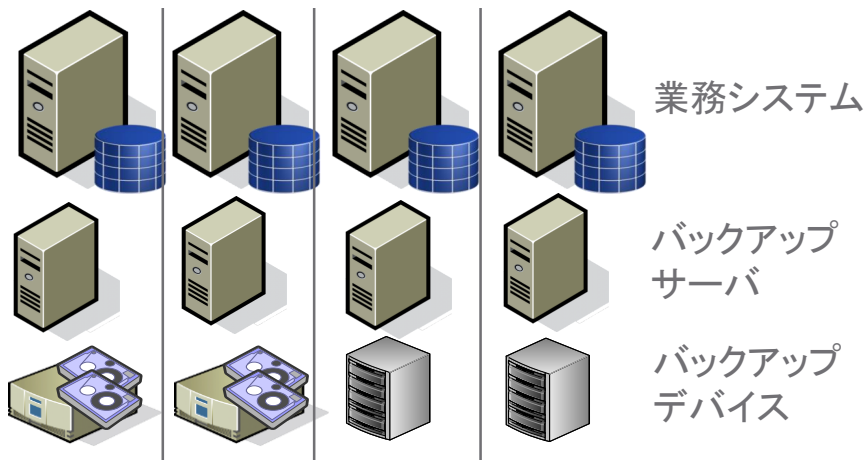
- 重複排除技術
- クラウド上のストレージとのレプリケーション機能

必要とされる技術/機能

- 重複排除技術
- クラウド上のストレージとの階層化機能

# プライベートクラウド(仮想統合基盤)への対応

## これまでの情報システム基盤



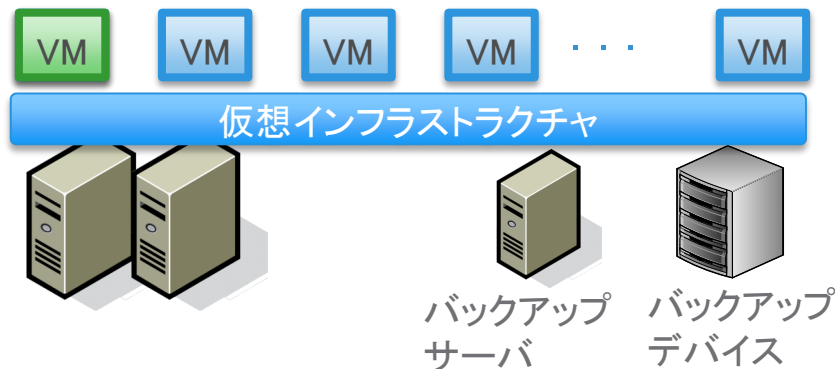
バックアップの仕組みはシステム毎に最適化

バックアップ取得時間

バックアップ世代数/保管期間

バックアップの粒度

## プライベートクラウド(仮想)基盤



バックアップインフラも共通化/標準化

バックアップ取得時間

バックアップ世代数/保管期間

バックアップの粒度

をシステム毎に最適化する事が難しい

# プライベートクラウドが抱えるジレンマ

基盤管理者とシステム利用者の間で生まれるギャップ



システム利用者

## バックアップ時間

夜9時からバックアップを開始したい

## バックアップ頻度

毎週金曜日にフルバックアップを取りたい

## バックアップ粒度

DBのオンラインバックアップは毎日  
システムメンテナンスの度にVMのイメージ  
バックアップを取りたい

インフラ運用管理者



## バックアップ時間/頻度

バックアップが夜間に、フルバックアップが週末に集中するとネットワークやストレージなどインフラが耐えられないので、各利用者毎に時間を指定

## バックアップ粒度

提供できるバックアップ方式は限定的  
利用者それぞれのニーズに応えると、それだけ工数と責任が増す

解決のために必要とされる技術/機能

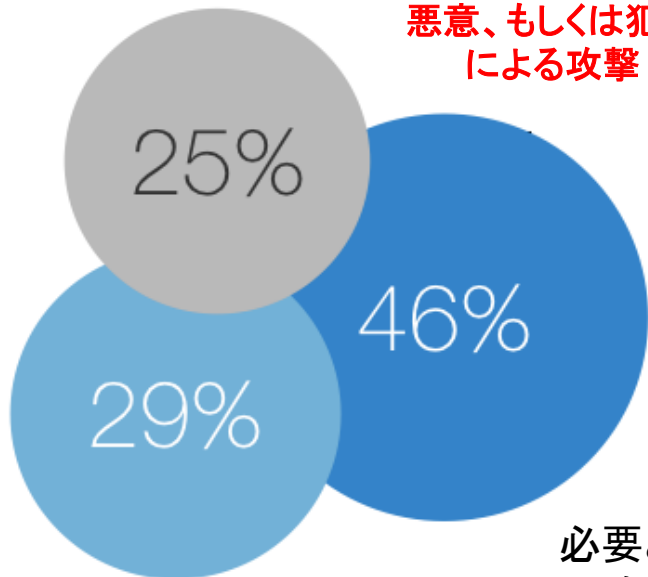
- システムインフラに優しいバックアップ方式(バックアップソース重複排除)
- セキュアなマルチテナント/セルフサービスのバックアップ

# 新たな脅威への対応

## データ破壊の要因

ヒューマンエラー

悪意、もしくは犯罪  
による攻撃



システム故障  
ソフトウェアバグ

破壊後すぐには発覚/発見できない

ミスの隠ぺい

長時間かけて徐々に破壊していくランサムウェア

バックアップデータも脅威にさらされる

バックアップデータが破壊対象になる事例も

## 対処策

- クライアントPCやファイルサーバもバックアップ
- より多くの世代数をバックアップ
- 改ざん防止(WORM)機能の採用

必要とされる技術/機能

改ざん防止機能

重複排除技術(改ざん防止機能を有効にしても容量が肥大化しない)

Dell EMCが最適なバックアップをご提案致します。

D~~E~~LL EMC